

令和6年度 学校自己評価(2023.9～2024.8) 結果

評価項目の達成及び取組状況

【目標達成率】 A：80%～ B：60%～79% C：40%～59% D：40%未満

(1) . 教育理念・目標 (学校全体)

評価項目	達成値
①理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	A
②学校における職業教育の特色は定められているか	A
③理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、生徒・保護者等に周知されているか	A
④教育目標、育成人材像は、卒業後の社会のニーズに向けて方向づけられているか	A

① できていること、維持すべきこと

- ・教育方針である慈母の如き愛情をもって教育活動を実践している。
- ・職業教育において、学び直し、検定取得で自信をつけさせることができている。
- ・姉妹校に多くの生徒が進学し、自信をもって社会人として活躍している。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・全員を挨拶ができ、礼儀正しく、マナーが守れて素直な生徒にする指導力。
- ・学校に足が向かない生徒の生活習慣の改善。
- ・卒業後に困らないよう、社会の厳しさを学べる機会の提供。
- ・教育理念を発信し続け、継続して保護者に理解を得ること。

(2) . 学校運営 (運営委員)

評価項目	達成値
①目的等に沿った運営方針が策定されているか	A
②事業計画に沿った運営方針が策定されているか	A
③学校として、また地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	A
④教育活動に関する情報公開が適切になされているか	A
⑤情報システム化等による業務の効率化が図られているか	B
⑥卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	A
⑦法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
⑧個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
⑨学校自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
⑩学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	B

① できていること、維持すべきこと

- ・学園方針、校長方針に沿って学校運営ができている。
- ・目的に沿った運営として、学び直し、検定取得、部活動等での居場所作り。
- ・卒業後のキャリア形成に向け、検定取得や職場体験を促進したりしている。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・個人情報の取り扱いに関する定期的な確認や勉強会の継続。
- ・情報システム化、業務の効率化、ペーパーレス化の推進。
- ・コンプライアンスに関する定期的な研修。
- ・学校自己評価の DCA
- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献の模索。

(3) . 教育活動 (教務)

評価項目	達成値
①教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	A
②確かな学力の育成、学力向上につなげることができているか	B
③カリキュラムは体系的に編成されているか	A
④コース制によって特徴を活かした教育活動が行われているか	A
⑤授業評価の実施・評価体制はあるか	B
⑥成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	B
⑦資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
⑧資格取得率の向上が図られているか	A
⑨施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
⑩教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	B

① できていること、維持すべきこと

- ・生徒たちは、検定取得や学び直しの意識を持って入学してくることや、わかる授業、検定合格等から自信を取り戻して目標を持つことができている。
- ・専門学校ならではの検定が取りやすいカリキュラムにより、検定取得の機会が多くある。検定取得率向上のためにパソコン室の開放、検定補習等の取り組みがされている。
- ・教職員研修などを行い、資質向上を行っている。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・授業評価の方法と DCA サイクルを回すための仕組みづくり。
- ・研究授業による教員のレベルアップ。
- ・外部研修の推進。
- ・ICT 教育の推進と設備の充実。

(4) . 生徒指導等 (生徒指導)

評価項目	達成値
①基本的生活習慣の確立のために取組が行われているか	A
②生徒・保護者が相談しやすい体制は組まれているか	A
③退学率の低減が図られているか	A
④生徒の健康管理を担う組織体制はあるか	B
⑤生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	A

① できていること、維持すべきこと

- ・定期的な学校周辺のボランティア、募金活動等ができている。
- ・東北（宮城県）においての地域活動を継続している。
- ・生徒・保護者ともに相談しやすいような教員の雰囲気づくりができている。
- ・さまざまな部活動・同好会の立ち上げに協力し、やりたいことを応援している。居場所づくりとしても意味のあることだと思う。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・基本的生活習慣確立のための対応、保護者との協力体制維持。
- ・ボランティア活動の継続。
- ・生徒や保護者とのコミュニケーションを増やし、より円滑な生徒指導を実現していく。
- ・時代に合わせた校則の検討。

(5) . 進路指導 (進路指導)

評価項目	達成値
①個々に見合った進路指導ができているか	A
②就職率の向上が図られているか	A
③保護者と適切に連携しているか	A
④職場体験ができる教育体制を整備しているか	A
⑤生徒に寄り添った進路指導ができているか	A
⑥卒業生への支援体制はあるか	B

① できていること、維持すべきこと

- ・企業説明会や職場体験を通して、進路に対して関心を持たせることができている。
- ・就労体験、就労支援、姉妹校との連携ができている。
- ・就職の面接練習や、履歴書の指導など、丁寧に指導できている。
- ・保護者と連携して就職活動を行うことができている。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・進路に対する教員のさらなる資質向上。
- ・離職率を減少させるための原因を追求。
- ・進学後の状況把握（退学等）
- ・1年生から進路を意識させ、遅刻や欠席をしない生活指導をする。
- ・職場体験可能企業のさらなる拡大。
- ・進学希望者に、模試の結果も参考に受験校を決定させたい。

(6) . 環境整備等 (総務)

評価項目	達成値
①安全・安心な学習環境づくりができているか	B
②防災に対する体制は整備されているか	B
③式典、表彰、備品管理・発注は適正に行われているか	A

① できていること、維持すべきこと

- ・検定表彰の継続は生徒の学習意欲向上に繋がっている。
- ・避難訓練、職員消防訓練を定期的実施している。災害時の備蓄も徐々に増やせている。
- ・定期的な安全点検の実施により、安全な体制が整っている。
- ・継続した改修工事により、安全な環境づくりに努めている。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・避難訓練の形骸化防止。
- ・様々な状況での災害時に取るべき行動を考える機会を増やす。
- ・消耗品の在庫切れ、発注遅れがないよう、定期的な在庫管理の実施とやりやりが必要。
- ・老朽化のため継続した改修工事が必要。

(7) . 生徒の受入れ募集 (渉外)

評 価 項 目	達成値
①生徒募集活動は、適正に行われているか	A
②生徒募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	A
③学納金は妥当なものとなっているか	A

① できていること、維持すべきこと

- ・渉外部が中学校訪問し、本校の魅力を伝え、在校生の現状を報告できている。
- ・体験入学で中学生・保護者に丁寧な説明ができている。個別相談等で入学前後のイメージにギャップがないよう対応している。
- ・就学支援金等の補助金を考慮して学納金が設定されている。
- ・SNSでの発信。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・より良い教育のために、物価高を考慮した学納金増額の検討。
- ・多様化する生徒の対応、受け入れ体制の強化。
- ・体験入学の内容に関する更なるアップデート。

(8) . 財務 (事務室)

評 価 項 目	達成値
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
③財務について会計監査が適正に行われているか	A
④財務情報公開の体制整備はできているか	A
⑤生徒の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	A

① できていること、維持すべきこと

- ・奨学金給付金、国の就学支援金、愛知県の授業料軽減について、外国籍の生徒やすべての保護者に対して丁寧な対応を心がけることができている。
- ・各分掌でも予算は計画され、予算内で学校運営がなされている。
- ・内部監査、公認会計士監査を定期的に行っていること。また、指摘項目があればすぐに修正を行っていること。
- ・紙の節約、特に事務室での古紙再利用率が高い。
- ・学園のホームページで財務情報を公開している。

② 問題点や課題と今後の改善方策

- ・不調カ所の修理、設備の老朽化に伴う修繕の未執行。
- ・「経費節減なくして設備の充実はない」高い意識の維持による経費の有効活用。